



第39回

東大寺

現代仏教講演会

ライブ配信！

YouTube

東大寺公式チャンネル



令和4年10月22日(土)

午後1時30分開演～午後4時30分終演

聴講料無料

事前申込不要

会場／東大寺総合文化センター 金鐘ホール
(南大門の北西スグ)
定員300人…コロナの状況により変動あり

第1部

南都と真言密教

—空海と東大寺を中心に—

講師／大阪市立美術館館長

内藤 栄

第2部

満月の心

～お大師さまと東大寺～

講師／真言宗泉涌寺派／長楽寺 僧侶

吉田 真譽

■主催／華嚴宗大本山東大寺、大仏奉賛会 ■後援／朝日新聞社寺社文化財みらいセンター
■特別協力／高野山真言宗総本山金剛峯寺、高野山真言宗青年教師会

第39回 東大寺現代仏教講演会

弘法大師は弘仁13年(822)に国家鎮護を願って東大寺に灌頂道場(真言院)を創建されました。

この度、現代仏教講演会では弘法大師による灌頂開壇1200年を記念して、弘法大師と東大寺をテーマに、お二人の講師からお話をお聴きします。

第1部

南都と真言密教 —空海と東大寺を中心に—

空海は若い時代を奈良で過ごした。奈良時代の東大寺には雑密(古密教)が入っており、これが空海に少なからず影響を与えたと思われる。空海は唐から帰国し真言宗を興したが、金剛峯寺や東寺の造営に携わったかわら東大寺の別当を務め、東大寺に真言院を創立するなど東大寺と深い縁を結んでいた。空海以後も真言僧はしばしば東大寺に入寺し、空海が東大寺に築いた真言教学の礎を継承した。真言宗と南都との関連は大安寺や西大寺など他寺にも波及し、南都の寺院は広く真言宗と深い関わりを持つに至り、それは今日に続いている。

講師

大阪市立美術館館長

ないとう さかえ

内藤 栄



【略歴】

- 筑波大学大学院博士課程芸術学研究科単位取得退学
- 博士(芸術学)
- サントリー美術館学芸員を勤めた後、奈良国立博物館に移り、工芸考古室長、学芸部長などを歴任した。
- 現在、大阪市立美術館館長。
- 専門は仏教工芸史、正倉院宝物研究。
- 主な著書に『舍利荘厳美術の研究』(平成22年、青史出版、第22回国華賞受賞)がある。

第2部

満月の心 ～お大師さまと東大寺～

真言宗開祖弘法大師空海は、若かりし頃奈良に学び、東大寺別当を務めたといわれます。

大仏殿参籠の折に大日経の夢告を得、修二会に関わる話も伝わっています。

一般的にはあまり知られていませんが、東大寺真言院にもお祀りされています。

仏画を交えお大師さまの足跡と御教えをご紹介します。

講師

真言宗泉涌寺派/長楽寺 僧侶

よしだ しんよ

吉田 真譽



【略歴】

- 真言宗泉涌寺派/長楽寺 僧侶。神奈川県横浜市生まれ。立教大学にて心理学を専攻。卒業後出家得度。
- 真言密教の教えを解りやすく説くために、仏画を描き始め、各地で仏画の展覧会や瞑想会、講演会を行い、布教活動を行う。
- 2016年、大仏開眼1250年慶讃のため、東大寺二月堂北の参籠所にて「華の仏さま展」を開催、以後毎年十一月に仏画展を行う(感染症蔓延防止の観点から令和二年・三年はお休み)。
- 現在静岡県浜松市長楽寺において、仏画や瞑想教室を行うほか、コンサートなどを行い、祈りの場としてのお寺作りに励む。趣味は山で瞑想。

講演スケジュール

開 場:午後1時00分

ご挨拶:午後1時30分～午後1時40分

華厳宗管長 東大寺第224世別当 橋村 公英

第1部:午後1時40分～午後3時00分

大阪市立美術館館長 内藤 栄

休 憩:午後3時00分～午後3時10分

第2部:午後3時10分～午後4時30分

真言宗泉涌寺派/長楽寺 僧侶 吉田 真譽



夢に大日経を感得す